

# ネポングリーンパッケージ室内機据付説明書

028466000

電気工事の方法は、裏面をご覧ください。  
室外機の据付方法および冷媒配管工事方法は、室外機付属の説明書をご覧ください。

## 安全上のご注意

- 据付工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みの上確실히行ってください。
- ここに示した注意事項は、**△警告**、**△注意**に区分してありますが、誤った据付をした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいものを特に**△警告**の欄にまとめて記載しています。しかし、**△注意**の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 据付工事後、試運転を行い、異常がないことを確認するとともに取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの方法を説明してください。また、この据付説明書は、取扱説明書と共にお客様で保管頂くように依頼してください。

### △ 警告

- 据付は、販売店、または専門業者に依頼してください。ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災などの原因になります。
- 据付工事は、この据付説明書にしたがって確실히行ってください。据付に不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。
- グリーンパッケージをハウスへ据付の場合は、万一冷媒が漏れても限界濃度を超えない対策が必要です。限界濃度を超えない対策については販売店と相談して据付してください。万一冷媒が漏れて限界濃度を超えると、酸欠事故の原因となります。
- 据付は、重量に十分耐える所に確실히行ってください。強度が不足している場合は、転倒による事故の原因になることがあります。
- 台風などの強風、地震に備え、所定の据付工事を行ってください。据付工事に不備があると、転倒による事故の原因になることがあります。
- 電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術標準」、「内線規程」、および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。電気回路容量不足や据付不備があると感電、火災の原因になります。
- 配線は所定のケーブルを使用して確실히接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないようクランプで確実に固定してください。
- 接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災の原因になります。
- 配線は、浮き上がらないように整形し、制御箱の扉・サービスパネルを確実に取り付けてください。取り付けが不完全な場合は発熱、火災の原因になります。
- グリーンパッケージの設置や移動の場合、冷凍サイクル内に指定冷媒(R410A)以外の空気などを混入させないでください。空気などが混入すると、冷凍サイクル内が異常高圧になり破裂、ケガの原因になります。
- 設置工事部品は、必ず付属部品及び指定の部品を使用してください。当社の指定の部品を使用しないと、水漏れ、火災、感電、冷媒漏れ、能力不足、制御不良の原因になります。
- ドレン配管は硫黄系ガスなど有毒ガスの発生する排水溝に直接入れないでください。ハウス内に有毒ガスが流入し、中毒や酸素欠乏によるおそれがあります。
- 作業中に冷媒ガスが漏れた場合は換気をしてください。冷媒ガスが火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
- 設置工事後、冷媒ガスが漏れていないことを確認してください。冷媒ガスがハウス内に漏れ、直火炭酸ガス発生機、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
- 室内機を搬入する際、重量に適合した1インチパイプを所定の穴に通して行ってください。搬入方法に不備があると室内機が落下し、死亡や重傷の原因になります。
- 据付時やサービス時など機器内部の作業を行う場合は電源を切ってから行ってください。感電の原因になります。

### △ 注意

- D種接地工事を行ってください。D種接地工事は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。
- D種接地工事が不完全な場合は、誤動作や感電の原因になることがあります。
- 漏電遮断器の取り付けを必ず行ってください。漏電遮断器が取り付けられていないと火災や感電の原因になることがあります。
- 据付工事は、この据付説明書に従って確실히行ってください。据付に不備があると、異常振動・騒音増大の原因になります。
- 可燃性ガスの漏れるおそれのある場所への設置は行わないでください。万一ガスが漏れて周囲に溜まると、発火の原因になることがあります。
- ドレン配管は、据付説明書に従って確実に排水するようにし、結露が生じないように保温してください。配管工事に不備があると、水漏れし、ハウス内等を濡らす原因になることがあります。
- ドレン配管は下り勾配(1/50~1/100)とし、途中山越えやトラップを作らないようにしてください。ドレン配管にエア抜きは、絶対に設けないでください。試運転時に排水が確実に行われていることと、水漏れのないことを確認してください。点検・メンテナンス作業のためのスペースを確保してください。
- 点検・メンテナンス作業のための規定スペースを確保してください。スペースが不足する場合は、設置場所からの転落によるケガの原因になることがあります。
- 油の飛沫や蒸気の多い所(例:調理場、機械工場)、外気流入しやすい所での据付、使用は避けてください。熱交換器の性能低下・腐食、プラスチック部品の破損の原因となります。
- 腐食性ガス(亜硫酸ガスなど)、可燃性ガス(シンナー、ガソリンなど)の発生、滞留の可能性がある場所、揮発性引火物を取り扱う所での据付、使用は避けてください。熱交換器の腐食、プラスチック部品の破損の原因となります。また、可燃性ガスは発火の原因になることがあります。
- 電磁波が発生する機器の近く、高周波の発生する機器の近くでの据付、使用は避けてください。ノイズ発生によるコントロールの誤動作の原因となります。
- 潮風が当たる所(海浜地区)での据付、使用は避けてください。外板、熱交換器の腐食の原因になります。
- 直射日光の当たる所、結露の発生する所にリモコンを設置しないでください。リモコンの故障や変形の原因になることがあります。



### お願い

- 下記に示すような場所での据付、使用は避けてください。
- ▶油の飛沫や蒸気の多い所(例:調理場、機械工場)は、熱交換器の性能低下・腐食、プラスチック部品の破損の原因となります。
- ▶腐食性ガス(亜硫酸ガスなど)、可燃性ガス(シンナー、ガソリンなど)の発生、滞留の可能性がある場所は、熱交換器の腐食、プラスチック部品の破損の原因となります。
- ▶また、可燃性ガスは発火の原因になることがあります。
- ▶電磁波が発生する機器の近く、高周波の発生する機器の近くはノイズ発生によるコントロールの誤動作の原因となります。
- ▶潮風が当たる所(海浜地区)での据付、使用は避けてください。外板、熱交換器の腐食の原因になります。
- ▶農業散布時には、機器にカバーを掛けるなどして、農業が直接機器に掛らないようにしてください。

### △ 注意

- 下記に据付け上の注意事項を示しますので必ずお守りください。
- ▶D種接地工事を行ってください。D種接地工事は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。D種接地工事が不完全な場合は誤動作や感電の原因になることがあります。
- ▶漏電ブレーカーの取り付けが必要です。漏電ブレーカーが取り付けられていないと感電や火災の原因になることがあります。
- ▶グリーンパッケージの重量に十分耐えられる場所に確実に設置してください。据付に不備があると室内機の転倒によるケガや振動および騒音増大の原因になります。
- ▶冷媒ガスが漏れた時、室内の冷媒濃度が限界濃度(0.3kg/m<sup>3</sup>)を超える恐れがある場合は、窒息防止のためハウスの開口部にガス漏れ検知警報と連動する機械換気装置等の取り付けが必要となりますので、お買い上げの販売店にご相談ください。

### <お願い事項>

○取扱説明書を見ながら、お客様に実際に操作していただき、正しい運転のしかた(特にエアフィルタの清掃、運転操作のしかた、温度調節の方法)をご説明ください。

## ①据付のまえに

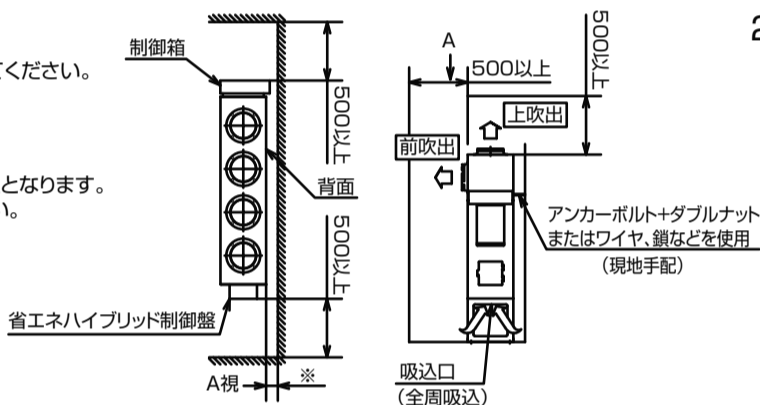
- 据付はこの据付説明書に従って正しく行ってください。
- 工事計画にあっていますか。

機種・電源仕様  
確認してください

## ②室内機の据付場所の選定

### 1. 室内機の据付およびサービススペース

- ここに示す据付およびサービススペース、運転範囲は必ず守ってください。サービス時ならびに能力確保のための最小スペースです。
- 背面の寸法制限(※印)はありませんが、室内機の振動が建物に伝わるのを防ぐため壁面に接触させないようにしてください。コンクリートブロックの長さ750mmの場合は、200mm以上となります。また、後吹出すときは必要に応じてスペースを確保してください。
- 吹出側は、現地接続のダクト施工法や吹出方向を検討し、無理のないスペースを確保してください。



### 2. 据付場所は下記条件に合う場所をお客様の承認を得て選んでください。

- 床面は水平で、室内機重量に耐えられる強固な所。
  - 冷風、または温風が十分行きわたる所。
  - 室外への配管、配線のしやすい所。
  - ドレン排水が完全にできる所。ドレン勾配のとれる所。
  - 吸込口、吹出口に風の障害のない所。火災報知器の誤動作しない所。ショートサーキットしない所。
  - 床面も含め、常に水がかかるといったような場所には設置しないでください。
  - 周囲の露点温度が28℃以下の所。
- 高湿度の所に据付する場合は本体の断熱など露点对する配慮をしてください。本機は、JIS露点条件にて試験を行い、不具合のないことを確認しておりますが、機器周囲が上記条件の高湿度雰囲気の状態に連動すると、水滴が落下するおそれがあります。そのような条件下で使用される場合には、機器本体の全ての配管、ドレン配管にさらに10mm~20mmの断熱材を取り付けてください。また、吹出ダクトに露が付き機器本体に滴下するときは、吹出ダクトに断熱材を貼り付けて機器本体へ滴下しないようにしてください。
- 高湿度条件下で使用し機器本体、吹出ダクト、冷媒配管、ドレン配管などに露が付き滴下したとき、不都合が発生する場所に据付するときは適宜断熱材を貼り付けてください。

### 運転範囲

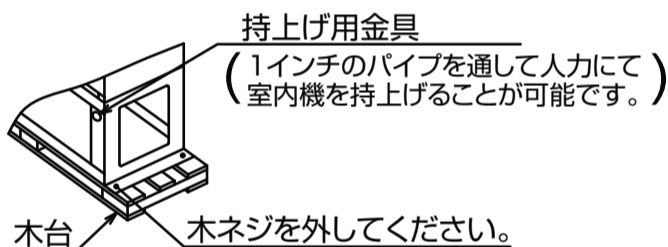
冷房・除湿・暖房運転は、下表の設定温度範囲でお使いください。

運転のしかた	設定温度範囲
省エネハイブリッド制御盤 NT-600シリーズで運転する場合	7~30℃
リモコンで運転する場合	10~30℃

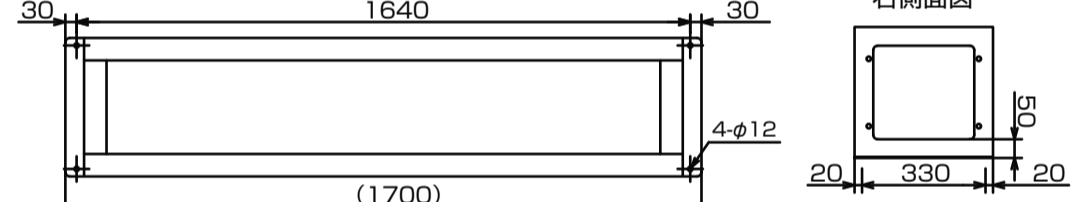
## ③室内機の搬入、据付

### 搬入

- 搬入時はできるだけ据付場所の近くまで梱包のまま搬入してください。
- やむをえず開梱して搬入する場合は、ナイロンリングなどで包み室内機を傷つけないよう注意してください。
- 梱包金具は室内機の固定金具を兼ねています。

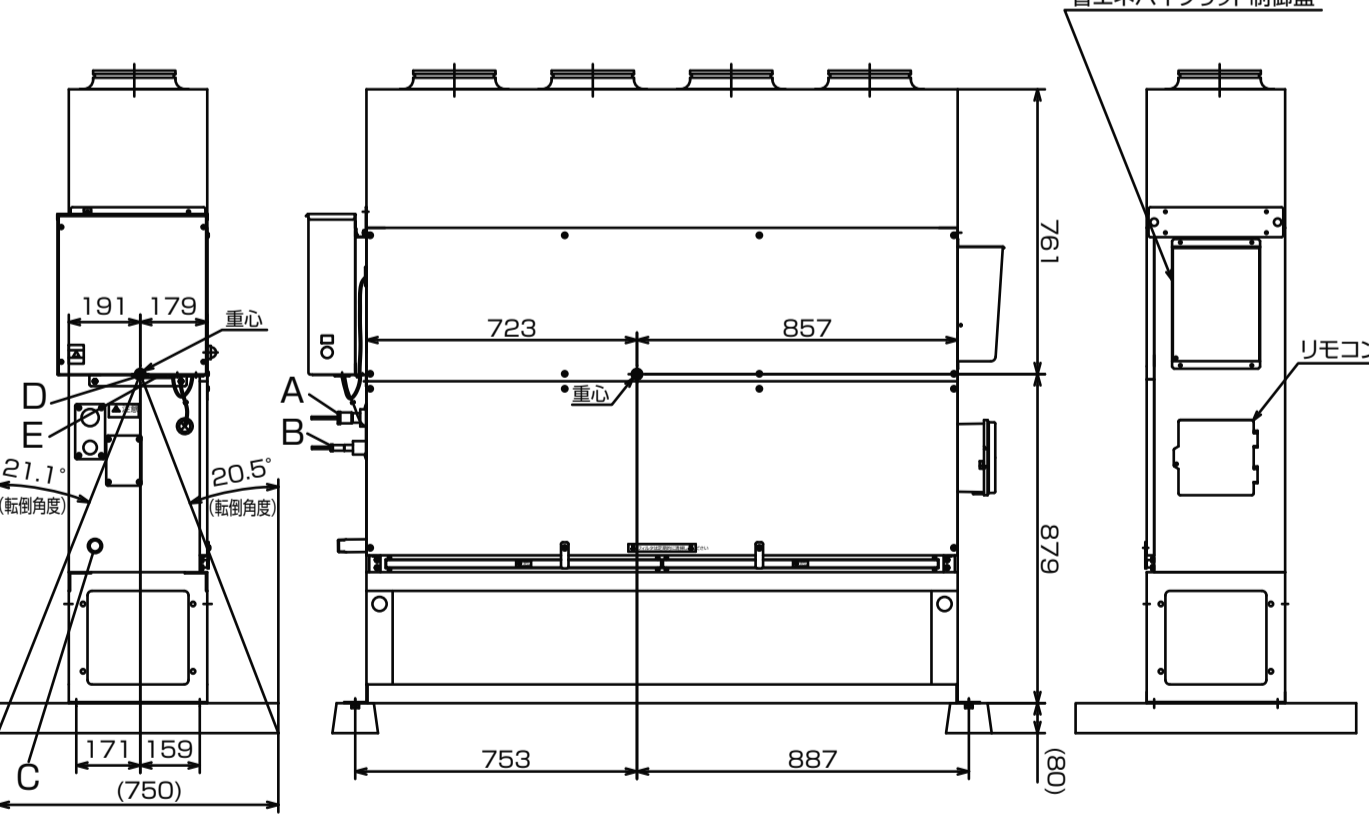


### 据付 <室内機固定金具位置>



## ④配管・配線取り出し・重心

1. 配管、配線の取り出しは下図に示す位置より行ってください。
2. 室内機の重心を下図に示します。室内機が転倒しないよう注意して据付してください。



記号	内 容
A	冷媒ガス側配管 φ25.4(ろう付)
B	冷媒液側配管 φ12.7(ろう付)
C	ドレン配管接続口 R1
D	電源配線取入口 φ30(グロメット付)
E	リモコン、子機への配線取入口 φ30(グロメット付)

## ⑤冷媒配管・吹出口

### 1. 冷媒配管接続口径・接続方法

液配管	φ12.7	ろう付接続
ガス配管	φ25.4	ろう付接続

- 配管は下記材質のものをご使用ください。なお、別売配管セットを使用されると便利です。(材質) リン脱酸銅線目無銅管(C1220T, JIS H3300)
- 配管の曲げはできるだけ大きな半径で行ってください。曲げなおしを何回も行わないでください。
- 配管は、ねじったり、つぶしたりしないでください。
- 配管内はゴミ・切粉・水分が混入しないように施工してください。
- 室内機配管内サービスパネルを取り外し可能とするため、配管方向がどのような方向でも必ず室内機から400mm以上のストレート部分を設けてください。
- ろう付作業時は、ろう付部周囲を過熱しないように濡れタオルなどで冷やしなから実施してください。
- 室内機の配管接続部は、ガス漏れチェック後、断熱を行ってください。

### ガス側配管、液側配管とも断熱は完全に行ってください。

※配管は断熱しないと結露し、水漏れします。ろう付接続部は、断熱材(現地手配)をかぶせ、断熱してください。

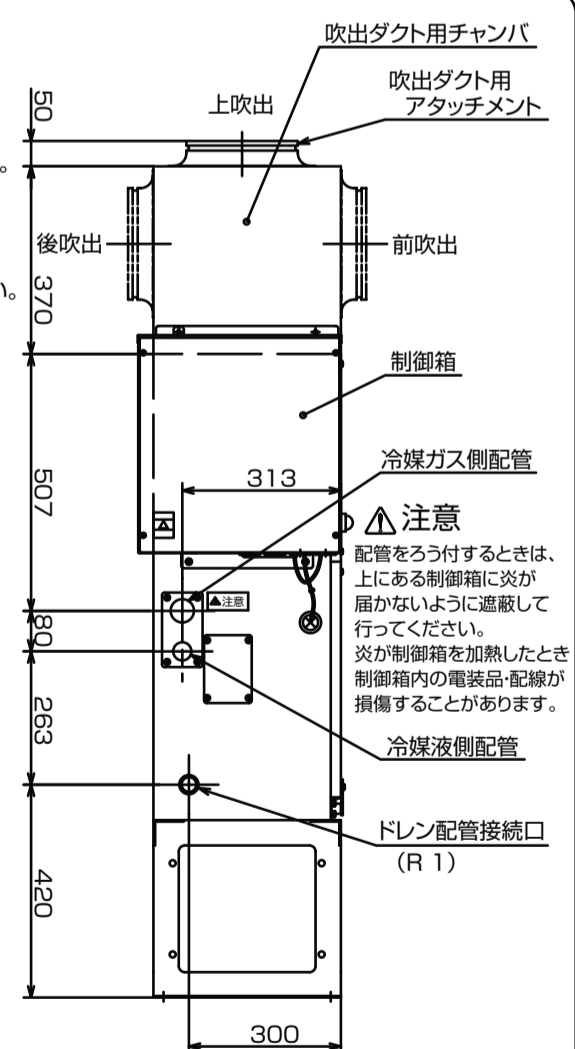
- 冷媒は、室外機に充填されています。(室内および接続配管分の追加量については室外の説明書をご覧ください。)

### 2. 吹出口の変更方法

- 吹出ダクト用アタッチメントの止めネジ(26ヶ所)を外してアタッチメントを取り外します。
- アタッチメントの吹出口を前向きにし止めネジにてアタッチメントを固定してください。

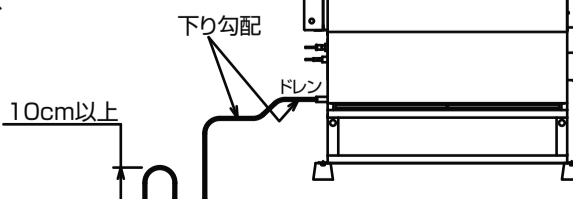
### 3. 吹出ダクト用チャンバの取り外し

- 吹出ダクト用チャンバを取り外すことでユニット搬入時のユニット高さが1270mmとなります。また、チャンバを180°回転させて取り付けることで後吹出しにすることができます。
- 吹出ダクト用チャンバの止めネジ8ヶ所を外してチャンバを取り外します。
- チャンバを止めネジ8ヶ所にて固定し取り付けてください。



## ⑥ドレン配管

- 配管施工後、排水が良好に行われていることと、水漏れのないことをご確認ください。
- ドレン配管を接続する際に室内機側の配管に力を加えないよう注意して行い、できる限り室内機近傍で配管を固定してください。
- ドレン配管は下り勾配(1/50~1/100)とし、10cm以上の水封がつくれるトラップを設けてください。(臭気止め、逆流防止のため。)
- 施工後のドレン配管は、結露する場合があります。結露水の滴下防止が必要ときにはドレン配管を断熱してください。
- ドレン配管の出口は臭気の発生するおそれのない場所に施工してください。



### △ 警告

- ドレン配管は、硫黄系ガスなど有毒ガスおよび可燃性ガスの発生する排水溝に直接入れないでください。室内に有毒ガスおよび可燃性ガスが侵入するおそれがあります。

## 工事完了後、再チェック願います。

チェック項目	不良だと	チェック欄
室内外の据付はしっかりしていますか。	転倒・振動・騒音	
ガス漏れ検査は行いましたか。	冷えない・暖まらない	
断熱は完全に行いましたか。	水漏れ	
ドレンはスムーズに流れていますか。	水漏れ	
電源電圧は本体に表示の銘板と同じですか。	運転不能・焼損	
誤配線・誤配管はありませんか。	運転不能・焼損	
D種接地工事はされていますか。	漏電時危険	
電線の太さは仕様とおりですか。	運転不能・焼損	
室内外の吸込・吹出口が障害物でふさがれていませんか。	冷えない・暖まらない	

# 電気配線工事

電気配線工事は電気設備技術基準および内線規程に従い、電力会社の認定工事店で行ってください。

## ④電源・室内外接続線

お願い  
室内外接続線は3心ケーブルを使用してください。

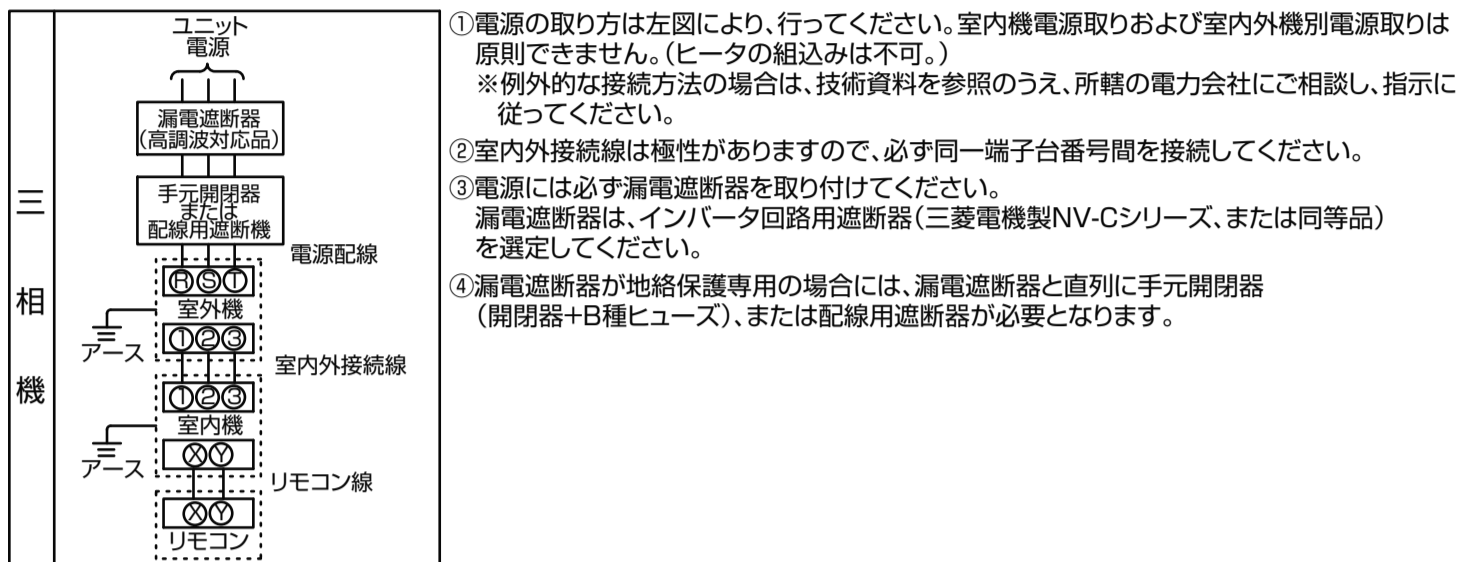
### 警告

- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災などの原因になります。
- 電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」およびこの据付工事説明書に従って施工し、必ず専用回路とし、かつ定格の電圧、ブレーカーを使用する。電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災などの原因になります。

### 注意

- D種接地工事(100Ω以下)を行う。D種接地工事は、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。D種接地工事が不完全な場合は感電の原因になります。
- 電源には必ず漏電遮断器(高調波対応品)を取り付ける。漏電遮断器が取り付けられていないと感電の原因になります。
- 正しい容量のブレーカー(漏電遮断器・手元開閉器(開閉器+B種ヒューズ)・配線用遮断器)を使用する。大きな容量のブレーカーを使用すると、故障や火災などの原因になります。

## 結線



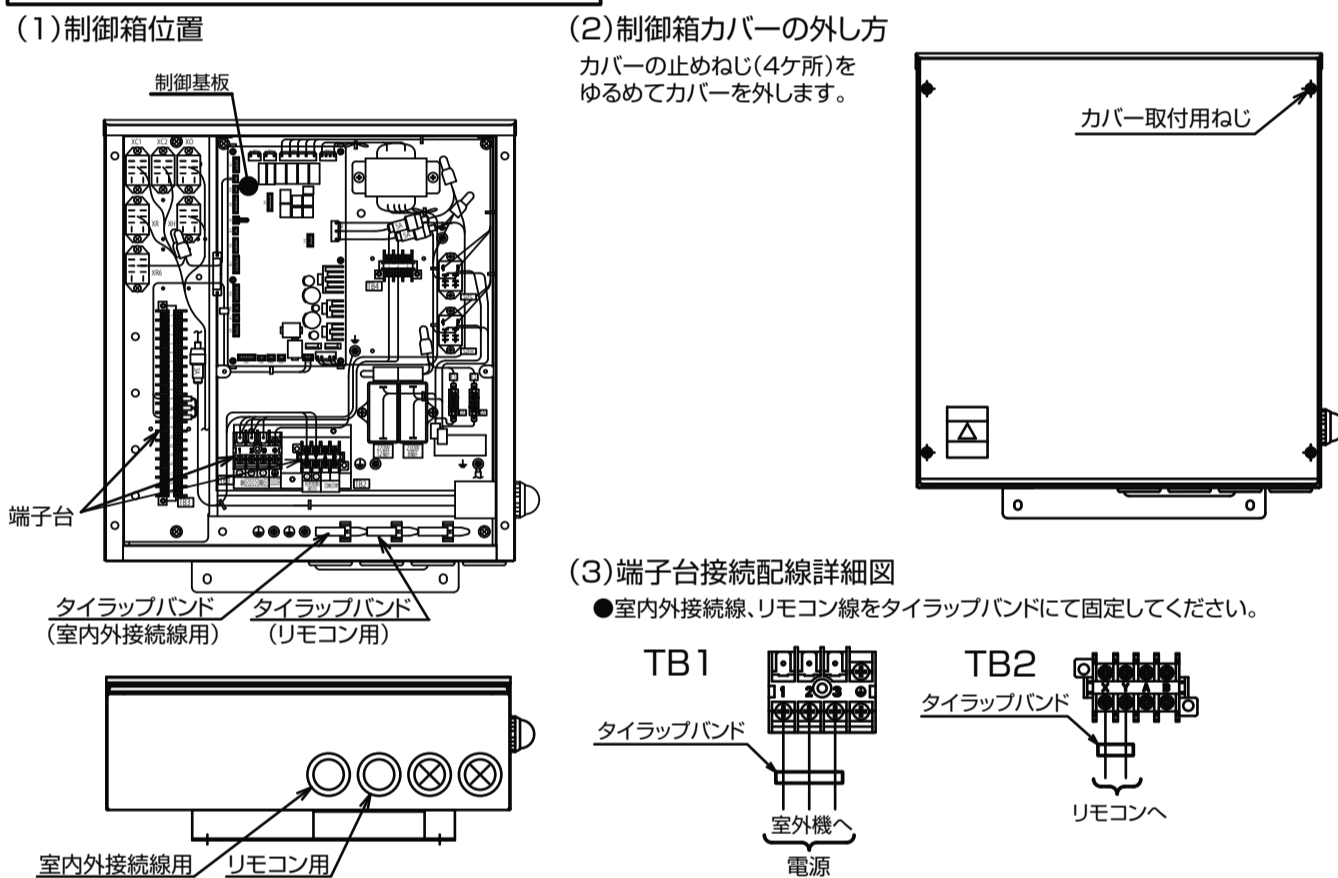
## 開閉器・配線仕様

<シングル機:ヒータレス>

- 注(1) 配線こう長は、電圧降下2%とした場合を示します。表示の配線こう長を超える場合は、内線規程により配線太さを見直してください。  
 (2) 室内外接続線は総長120mまでとしてください。  
 (3) 高調波対応品の遮断器を使用してください。

漏電遮断器 定格電流	手元開閉器 開閉器容量	配線用遮断器 定格電流	電源配線 注(1)	内外接続線 注(1)	アース線
50A,100mA,0.1sec以下	60A 50A	50A	太さ×本数 こう長	太さ×本数	太さ ネジ
			14.0m×3 44m	φ1.6×3	5.5mm <sup>2</sup> M6

## 制御箱位置および電気配線接続



## ⑤リモコン

リモコンは室内機に必ず取り付けてください。

### リモコンの据付

お願い 次の位置は避けてください。

- 1) 直射日光の当たる場所
- 2) 発熱器具の近く
- 3) 湿気が多い所・水の掛かる所
- 4) 取付面に凸凹がある所

### 注意

リモコンの上ケースを取り外した場合は、リモコンを据付けるまで、基板上にゴミや水分などが付着しないように、梱包箱あるいは梱包用袋に入れて保護してください。

### 取付要領

- ①リモコンの蓋を開け、スイッチ下部のねじを必ず外してください。
- ②リモコンの上ケースを外してください。
- リモコン上部の凹部にマイナスドライバなどを差し込んで軽くねじると、容易にはずれます。

### 埋込取付

- ③JISボックスとリモコンコードをあらかじめ埋込んでおきます。(使用可能JISボックス)  
●JIS C 8340  
1個用スイッチボックス  
2個用スイッチボックス

- ④M4ねじ2本(推奨長さ12~16mm)を用意して、下ケースをJISボックスに取り付けてください。

- ⑤リモコンコードを端子台に接続してください。リモコン端子(X,Y)と室内機の端子(X,Y)とを接続してください。(X,Yの極性はありません)

- ⑥リモコンコードが噛みこまないように、上ケースを元通りに取り付け、外したねじで固定してください。

### 露出取付

- ③リモコンコードの取り出し方向は、上部左上、または中央から可能です。リモコンケース側の上方の薄内部をニッパー・ナイフなどで切り取った後、ヤスリなどでバリを取ってください。
- ④リモコン下ケースを付属の木ねじ2本(付属)で平らな壁に取り付けます。
- ⑤リモコンコードを端子台に接続してください。リモコンの端子(X,Y)と室内機の端子(X,Y)とを接続してください。(X,Yの極性はありません) 取り出し方向によって、配線経路は右図の通りになります。リモコン内部のリモコンコードは0.3mm<sup>2</sup>(推奨)~最大0.5mm<sup>2</sup>以下としてください。また、リモコンケース内を通る部分はシース部を皮むきしてください。各配線の皮むき長さは、下記の通りです。

- ⑥リモコンコードが噛みこまないように、上ケースを元通りに取り付け、外したねじで固定してください。

- ⑦露出取付の場合は、リモコンコードがたるまないようにコードクランプなどで壁面に固定します。

- ⑧リモコンコードの取り出し方向は、上部左上、または中央から可能です。リモコンケース側の上方の薄内部をニッパー・ナイフなどで切り取った後、ヤスリなどでバリを取ってください。

- ④リモコン下ケースを付属の木ねじ2本(付属)で平らな壁に取り付けます。

- ⑤リモコンコードを端子台に接続してください。リモコンの端子(X,Y)と室内機の端子(X,Y)とを接続してください。(X,Yの極性はありません) 取り出し方向によって、配線経路は右図の通りになります。リモコン内部のリモコンコードは0.3mm<sup>2</sup>(推奨)~最大0.5mm<sup>2</sup>以下としてください。また、リモコンケース内を通る部分はシース部を皮むきしてください。各配線の皮むき長さは、下記の通りです。

- ⑥リモコンコードが噛みこまないように、上ケースを元通りに取り付け、外したねじで固定してください。

- ⑦露出取付の場合は、リモコンコードがたるまないようにコードクランプなどで壁面に固定します。

- ⑧リモコンコードの取り出し方向は、上部左上、または中央から可能です。リモコンケース側の上方の薄内部をニッパー・ナイフなどで切り取った後、ヤスリなどでバリを取ってください。

- ④リモコン下ケースを付属の木ねじ2本(付属)で平らな壁に取り付けます。

- ⑤リモコンコードを端子台に接続してください。リモコンの端子(X,Y)と室内機の端子(X,Y)とを接続してください。(X,Yの極性はありません) 取り出し方向によって、配線経路は右図の通りになります。リモコン内部のリモコンコードは0.3mm<sup>2</sup>(推奨)~最大0.5mm<sup>2</sup>以下としてください。また、リモコンケース内を通る部分はシース部を皮むきしてください。各配線の皮むき長さは、下記の通りです。

- ⑥リモコンコードが噛みこまないように、上ケースを元通りに取り付け、外したねじで固定してください。

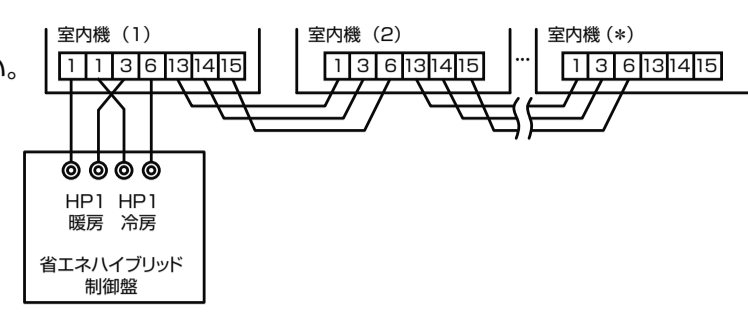
- ⑦露出取付の場合は、リモコンコードがたるまないようにコードクランプなどで壁面に固定します。

- ⑧リモコンコードの取り出し方向は、上部左上、または中央から可能です。リモコンケース側の上方の薄内部をニッパー・ナイフなどで切り取った後、ヤスリなどでバリを取ってください。

## ⑥省エネハイブリッド制御盤による複数台室内機制御

同一モード、同一室温設定で運転します。各室内機間を以下の仕様で渡り配線してください。

- 種類: 3心-VCTF
- 太さ: 0.75mm<sup>2</sup>
- 最大総延長: 100m以内



## ⑦機能の設定

●リモコンと室内機の各機能は、リモコンと室内機を接続した際に、標準的な使い方である初期設定に自動的に設定されます。標準的な使い方をする場合は、設定の変更は不要です。ただし、グリル昇降設定や「○」印の初期設定を変更したい場合は、その機能番号の項目のみ、設定を変更してください。設定方法の詳細は、リモコンの据付説明書をご覧ください。

●○の項目は、本機には機能がありませんので、設定しないでください。

(1)リモコン機能			(2)室内機能		
機能番号	機能内容	初期設定	機能番号	機能内容	初期設定
01	グリル昇降設定	昇降無効	02	高天井設定	標準
02	自動運転設定	自動運転有効	03	フィルターサイン設定	表示なし
03	温度設定	温度設定禁止	04	ルーバ(制御)設定	ルーバ4位置停止
04	運転切換	運転切換有効	05	外部入力切換	レベル入力
05	運転/停止	運転/停止有効	06	運転許可/禁止	有効
06	風量切換	風量切換有効	07	緊急停止	有効
07	風向切換	風向切換有効	08	暖房室温補正	室温補正+3.0℃
08	タイマー	タイマー禁止	09	暖房室温補正	室温補正+2.0℃
09	リモコンセンサ設定	リモコンセンサ無効	10	暖房ファン制御	設定風量
10	停電補償設定	停電補償設定無効	11	Frost防止温度	温度 高
11	換気設定	換気無効	12	Frost防止制御	ファン制御有効
12	温度範囲設定	表示変更なし	13	ドレンポンプ	標準
13	室内ファン	2速HI-LO	14	冷房ファン運転	0.5時間
14	ルーバ(制御)設定	ルーバ(4位置停止)	15	暖房ファン運転	0.5時間
15	冷房/ヒートポンプ	冷房	16	暖房ファン間欠	運動なし
16	外部入力設定	全台同一運転	17	外機制御	圧力制御標準
17	室温表示設定	室内機表示無し			
18	暖房準備表示	表示有り			

## ⑧冷房試運転操作

リモコンを次の手順で操作してください。

- 1.冷房試運転の開始
  - ① [運転/停止] ボタンを押して、運転します。
  - ② [運転切換] ボタンにより、「冷房」を選択します。
  - ③ [試運転] ボタンを3秒以上押します。表示が「冷房試運転▼」となります。
  - ④ 「冷房試運転▼」の表示で、[リセット] ボタンを押すと、冷房試運転を開始します。表示は、「冷房試運転」となります。

設定の途中で、[リセット] ボタンを押すと、直前の設定画面に戻ります。

- 2.冷房試運転の解除  
下記のいずれかの操作が行われた時、冷房試運転は解除され、「冷房試運転」表示は消灯します。  
 ・ [運転/停止] ボタンが押されたとき  
 ・ 温度設定 [△] ボタンが押されたとき  
 ・ [運転切換] ボタンにより冷房以外のモードに変えたとき

## ⑨運転データの確認

リモコン操作により、運転データの確認ができます。

- ① [監視] ボタンを押します。表示が「運転データ表示▼」となります。
- ② 「運転データ表示▼」の表示で、[リセット] ボタンを押します。
- ③ 「データ確認中」表示となり(データを読み込む間点滅表示)、その後、運転データの01番が表示されます。  
※機種により該当するデータがないものは、その項目は表示されません。
- ④ [▲▼] ボタンにより、現在の運転データを確認できます。表示される項目は下記の通りです。  
●機種により該当するデータがないものは、その項目は表示されません。
- ⑤ 室内機を変更する場合は、「[エアコンNo.] ボタンを押すことにより、室内機選択表示に戻ります。
- ⑥ [運転/停止] ボタンを押すと、終了します。

### 運転データ一覧

番号	データ項目
01	冷房 (運転モード)
02	設定 C (設定温度)
03	吸込 C (吸込温度)
04	リモコンセンサ C (リモコンセンサ温度)
05	THI-R1 C (室内熱交感センサ/リベント)
06	THI-R2 C (室内熱交感センサ/キャピラリー)
07	THI-R3 C (室内熱交感センサ/ガスヘッド)
08	内ファン 速 (室内ファン速度)
09	要求 Hz (要求周波数)
10	アンサー Hz (アンサー周波数)
11	内EEV P (室内膨張弁開度)
12	内運転 H (室内運転時間)
21	外気 C (外気温度)
22	THO-R1 C (室外熱交感センサ)
23	THO-R2 C (室外熱交感センサ)
24	コンパ Hz (コンパ周波数)
25	HP MPa (高圧)
26	LP MPa (低圧)
27	Td C (吐出管温度)
28	ドーム下 C (ドーム下温度)
29	CT A (CT電流)
30	SH制御 C (SH制御値)
31	SH C (実SH)
32	TDSH C (実TDSH)
33	保護制御No. (コンパ保護ステータスNo.)
34	外ファン 速 (室外ファン速度)
35	G3H1 (G3H1 ON/OFF)
36	デフロスト (デフロスト ON/OFF)
37	コンパ H (コンパ運転時間)
38	外EEV1 P (室外膨張弁開度EEVC)
39	外EEV2 P (室外膨張弁開度EEVH)

## ⑩初期設定値の確認

●室内機制御盤内基板のスイッチ

スイッチNo.	制御内容	出荷時の設定
SW2 (ロータリスイッチ)	室内アドレス (0~F)	0
SW5-1	-	OFF
SW5-2	-	OFF
SW6-1~4	機種容量	全てON
SW7-1	運転チェック・ドレンポンプ試運転 (ON:有効/OFF:無効)	OFF
SW7-2	-	OFF
SW7-3	-	OFF
SW7-4	-	OFF

## ⑪吸込センサーのコネクタ差替え(リモコンにより運転するとき実施)

